

神戸の高校生たちが挑んだ
「災害安全マップづくり」の
成果を披露しあいます。

NDYS-KOBE Forum2011
Natural Disaster Youth Summit



防災世界子ども会議
神戸フォーラム2011

メインテーマ: 気候変動と私たちの住む街の防災・減災
with: 世界大会「第6回 防災世界子ども会議 2010 inトルコ」参加レポート



2011.1.29 Sat
13:30-16:30

対象: 小学生以上～一般 定員: 100名(要予約)

参加
無料

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
西館1F ガイダンスルーム1

プレゼンテーション(参加校):
神戸市立葺合高等学校
兵庫県立川西高等学校宝塚元校
兵庫県立舞子高等学校



3つの高校が
同じテーマで
マップづくりに
取り組みました!



主催: 防災世界子ども会議実行委員会
共催: (公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
国連教育科学文化機関 (UNESCO)
京都大学大学院 地球環境学 国際環境防災マネジメント論分野
神戸大学 海事科学部 附属国際海事教育研究センター
国際防災教育支援団体 (SIDE)
iEARN (アイアーン International Education and Resource Network)
後援: 内閣府、外務省、文部科学省、国土交通省近畿地方整備局、
兵庫県、神戸市、
兵庫県教育委員会、ひょうごe-スクールコンソーシアム、神戸市教育委員会、
兵庫県立中学高等学校連合会、
アジア防災センター (ADRC)、
国際連合地域開発センター (UNCRD) 兵庫事務所、
国際防災・人道支援協議会 (DRA)、
国際防災復興協力機構 (IRP) 事務局、
国際連合大学高等研究所、
(独) 防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター (EDM)、
(公財) 兵庫県国際交流協会、
(独) 国際協力機構兵庫国際センター (JICA 兵庫)、
兵庫ニューメディア推進協議会、NPO 法人はりまスマートスクールプロジェクト
遠隔教育研究会 MINE、(社) 日本教育工学振興会 (JAPET)
特別協力: (独) 情報通信研究機構 (NICT) 言語グリッドプロジェクト、
関西学院大学 理工学部 情報科学科 北村研究室
協力: 「イザ!カエル大キャラバン! in HAT 神戸」 実行委員会



昨年度のメンバーは
トルコの世界大会で
活動発表し、
世界の仲間たちと
交流しました!



カエルポイントをたくさん集めて
おもちゃとかえりこしよう!
2011.1.30(日)
イザ!カエル大キャラバン!
in HAT神戸



本催しへの参加者で、希望される方には、
翌日1月30日(日)に開催されるイベントで
使用できる「カエルポイント」を呈します。



この事業は、
「(財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構」、
「ひょうご安全の日推進県民会議」の
助成を受けて実施しています。



共催・会場:
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

<http://ndys.jearn.jp/>
全国の学校のみならず、ぜひ活動にご参加ください!

2011.1.29 Sat
13:30-16:30

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
西館1F ガイダンスルーム1

開催によせて

今回の神戸フォーラムには2つの大きな柱があります。

1つは、「防災世界子ども会議 (NDYS)」が 2010 年度、神戸地元の高校生が協働して主体的に取り組んできた「NDYS-KOBE 高校生プロジェクト」の総仕上げとして、参加者どうしその成果をプレゼンテーションし合う機会であることです。高校生たちが自ら対象とする地域を取り上げ、そのエリアの調査や街歩きを通じてつくりあげた「災害安全マップ」の成果を確認できることでしょう。

また、もう1つは、NDYS が昨夏トルコで開催した世界大会への神戸からの参加を報告し、その意義を日本・神戸の仲間たちと共有し合う機会であることです。実行委員会では、昨年度 09 年の「NDYS-KOBE 高校生プロジェクト」に参加した高校生の代表者を、2010 年 8 月にトルコ・ブルサ市にて行われた「第 6 回 防災世界子ども会議 in トルコ」に派遣しました。代表者らは活動の成果を世界の仲間たちに披露し、また同じように「災害安全マップづくり」を推進する世界各地の学校の取り組みに学びながら、大きな成長を実感できる7日間をトルコで過ごし、帰国しました。この「トルコ会議」にて発表された12カ国・地域の災害安全マップの成果をビジュアルに共有するとともに、振り返りたいと思います。

神戸の高校生たちが、自分たちの住む地域を見つめ、学びあったことを確認し合うこと。またその成果を世界の仲間たちに対して披露して、グローバルな視野で自分たちの作品を見つめ直すこと。NDYS のこうした一連の活動に参加した若者たちの中から、きっとこれからの世界の防災・減災を担う道へと羽ばたいていく人材が育っていくことでしょう。そのことを確信しながら、震災 16 年目となるこの 2011 年の神戸フォーラムを開催します。

防災世界子ども会議実行委員会 会長 岡本 和子



プログラム

『NDYS-KOBE高校生プロジェクト2011』成果発表

○プレゼンテーション

神戸市立葺合高等学校

兵庫県立川西高等学校

兵庫県立川西高等学校宝塚良元校

○ファシリテーター コメンテーター

独立行政法人 防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター

特別研究員 塩飽 孝一

神戸学院大学 防災・社会貢献ユニット 専任講師 舟木 伸江

2010世界大会「第6回防災世界子ども会議in トルコ」 参加報告

○プロジェクト・メンバーレポート

○ゲストレポート 神戸学院大学 防災・社会貢献ユニット

世界の子どもたちとインターネット・ミーティング

○トルコ会議で発表された12カ国・地域の災害安全マップを

CoSMOSを使って見てみよう。

関西学院大学大学院 理工学研究科 情報科学専攻 吉岡 洋輔

○マップをつくった世界の仲間たちの声を聞いてみよう。

<参加予定の国・地域>

アゼルバイジャン(Mahmudov School)、イラン(Saba high school)

インドネシア(SMP)、台湾(FXM,FHSH, CCAFPS)、

トリニダード・トバゴ(El Dorado Comprehensive Secondary)、

トルコ(TUNCSIPER SCHOOLS)、日本、他

特別メッセージ:公益財団法人 兵庫県国際交流協会 理事長 齋藤 富雄

総括メッセージ:関西学院大学 総合政策学部 都市政策学科 教授 室崎 益輝

CoSMOS (Collaborative Safety Maps on Open System)



Web上のマップに、
世界の仲間たちがつくった災害安全マップを
配置し、誰でも自由に見ることができる
防災学習支援ツール「コスモス」を
使って、プレゼンテーションします!

FAX または、お電話でお申し込みください。
先着順。空きがあれば当日参加もできます。

申し込み用紙 FAX 078-262-5055

● NDYS 神戸フォーラム2011 1月29日(土)

参加者の 氏名 (年齢)	フリガナ	代表者の連絡先 〒
	()	住所:
	()	電話: FAX:
	()	携帯: Eメール:

※後日参加票をお送りします。お申込後、5日以上経過しても返信が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。